

櫛形北小だより



本校HP

学校教育目標「ゆたかな心もち たくましく生きる」

<http://www.kita.m-alps.ed.jp/>

今年、櫛形北小は創立60周年

発行：校長室 2018. 6. 29 (No. 3)

道徳公開・教育講演会 ご参加ありがとうございました



6月22日（金）、地域ふれあい道徳教育推進事業・PTA研修会として、道徳の公開授業および教育講演会がおこなわれました。

道徳の公開授業では、各学年・学級で、それぞれの学年に合わせた道徳の授業が行われました。5年生では、櫛形北小の元校長先生で桃園在住の加藤庄八先生を講師に、北小の歴史を学ぶことで郷土愛を育む授業がおこなわれ、懐かしい写真が何枚も紹介されました。

教育講演会では、義足の陸上競技選手としてパラリンピックで活躍をしている鈴木徹さんを講師に招き、保護者の皆さんと5・6年生児童がいっしょに話を聞きました。中学、高校時代、ハンドボール選手として活躍していた頃のこと、その後交通事故で右足をひざ下から切断したこと、義足をつけて走り高跳びの練習を始めパラリンピックに出場するようになったことなど、聞いていただく皆さんの勇気をいただきました。義足やメダルにも実際に触らせていただくことができ、心に残る講演会となりました。

児童集会「北小オリンピック」開催

6月15日（金）に、児童集会「北小オリンピック」がおこなわれました。

「PK」、「風船バレー」、「輪投げゲーム」、「しんぶんしり」、「変わったところはどこ」、「あきかんタワー」、「本さがし」、「時間あて」、「ボーリング」、「聖徳太子ゲーム」、「的あて」、「箱のなかみは何点?」、以上12のゲームに、たてわり班で挑戦して得点を競いました。



下級生によく声をかけて、班員がゲームを楽しめるようにしている6年生の姿に、高学年らしい優しさとたくましさがあふれていました。さすが6年生だなあと感心しました。



あいさつ運動 実施中

6月4日（月）より、たてわり班による「あいさつ運動」がおこなわれています。

毎朝、児童玄関を入ったすぐのところと、1・3・5年生が通る廊下のところで、「おはようございます」という元気な声がひびいています。



ちょうど5月末には全校朝会で「あいさつ名人になろう」というテーマであいさつの仕方について学んだところです。

「あかるく いつも（だれにでも） さきに つづけよう」を合言葉に、あいさつ名人が増えることを願っています。ぜひ、ご家庭でも、子どもたちにあいさつの声かけをお願いします。

ボランティア ありがとうございます

P T A活動として呼びかけてきている保護者の皆さまによるボランティアですが、すでに何人もの方にご協力をいただき、心より感謝申し上げます。

3年生の交通安全教室での補助、5年生の家庭科で裁縫の勉強をするときの補助など、いろいろなところでお力をかしていただいています。

特別な報酬のないボランティアですが、「子どもたちの笑顔」が報酬です。これからもよろしくをお願いします。

防犯ブザーの所持状況を調べてみました

今年度の4月以降、橿形北小の学区内で、本校の児童が不審者に会うという事案が、すでに3件発生しています。学校では、不審者に注意するための指導をおこなったり、また不審者が現れたときには関係機関に連絡するとともに職員による学区内のパトロールをおこなったりしています。

しかし、もっと予防的な対策が必要だと考えています。そのための方法を検討しています。

今回、子どもたちが防犯ブザーをどの程度、持ってきているかを学年ごと調べてみました。入学の時に市から防犯ブザーがプレゼントされていますが、学年が上がるにつれて所持率が下がっていることがわかりました。防犯ブザーを目につくところに持っているという抑止効果、万一のときの音、ぜひ防犯ブザーを持つように、ご協力をお願いします。

(表は省略)